

「育児・介護支援のためのアンケート調査 2015」結果報告

次世代育成支援対策推進法に基づき、本学では仕事と子育てに関する「一般事業主行動計画」を策定し、「職員が、仕事と子育てを両立させることができ、全職員が働きやすい環境をつくることによって、全ての職員がその能力を十分に発揮できるようにするための取組を行っています。

また、男女共同参画室を前身とする、男女共同参画推進センターでは、平成 26 年度に採択された文部科学省科学技術振興機構「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」によって、ライフイベント中の女性研究者を支援する活動を行っています。今回、男女共同参画推進センターでは女性研究者に限らず、全職員にとって働きやすい環境として、育児について具体的な支援のニーズ調査と介護についての実態を調査いたしました。

I. 調査目的

II. 調査対象 ポータルサイトの掲示板を閲覧できる全教職員（参考のため大学院生にも協力依頼）

III. 調査方法 ウェブ上で行いアンケート回答を送信する方法

IV. 調査期間 平成 27 年 6 月 29 日（月）から平成 27 年 7 月 14 日（火）

V. 調査項目 設問は大きく 6 つに分かれており、以下の通りです。

- 1. 回答者属性 性別・年齢・職種
- 2. 家族構成 同居者の有無、構成
- 3. 育児(保育) 学内保育があった場合の利用・そのほかの育児支援
- 4. 介護について 要介護者の有無・介護頻度・時間・内容
- 5. 支援(相談) 相談の有無・相談先・相談による効果
- 6. 育児・介護支援について 自由記述

調査結果は以下のとおりでした。

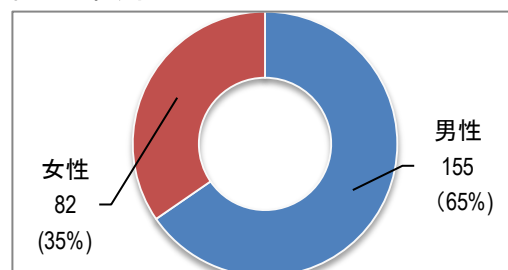
設問に対する回答一覧

1. すべての項目において、あなた自身についてお答えください。

(1) 性別（必須）

カテゴリ	男性	女性	合計
度数	155	82	237
%	65%	35%	100%

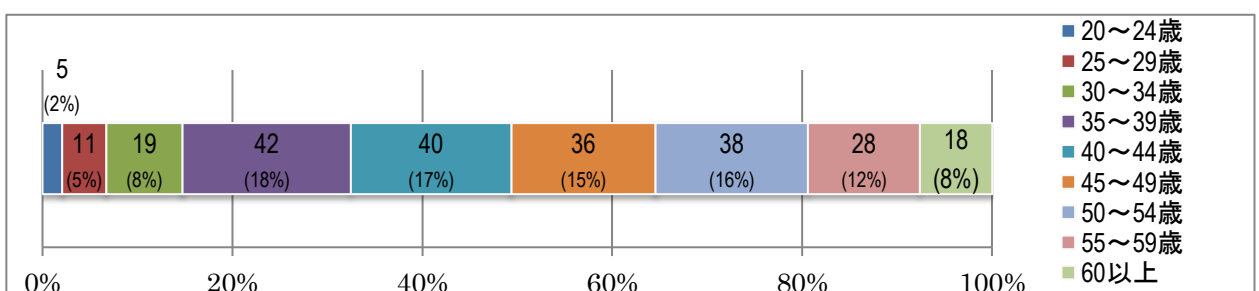
図 1 性別



(2) 年齢（必須）

カテゴリ	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60以上	合計
度数	5	11	19	42	40	36	38	28	18	237
%	2%	5%	8%	18%	17%	15%	16%	12%	8%	100%

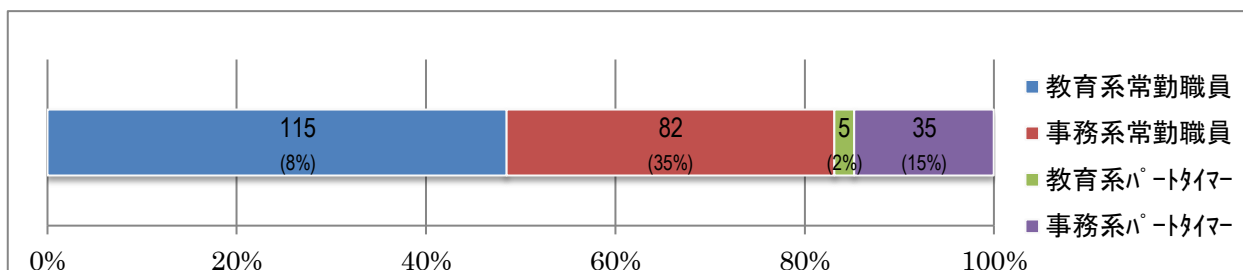
図 2 年齢



(3) 身分 (必須)

カテゴリ	教育系 常勤職員	事務系 常勤職員	教育系 パートタイマー	事務系 パートタイマー	合計
度数	115	82	5	35	237
%	49%	35%	2%	15%	100%

図 3 身分



※教育系 常勤職員 (教授、准教授、助教、特任教員、特任研究員など)

※事務系 常勤職員 (事務職員、技術職員など)

※教育系 パートタイマー (研究員など)

※事務系 パートタイマー (事務補佐員、技術補佐員など)

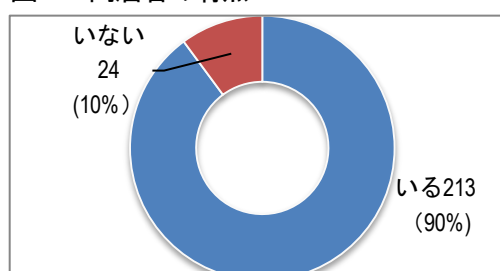
※大学院生、研究生、大学院研究生 (参考のため集計からは除外)

2 家族状況についてお伺いいたします。

(1) 同居者がいる。(必須)

カテゴリ	いる	いない	合計
度数	213	24	237
%	90%	10%	100%

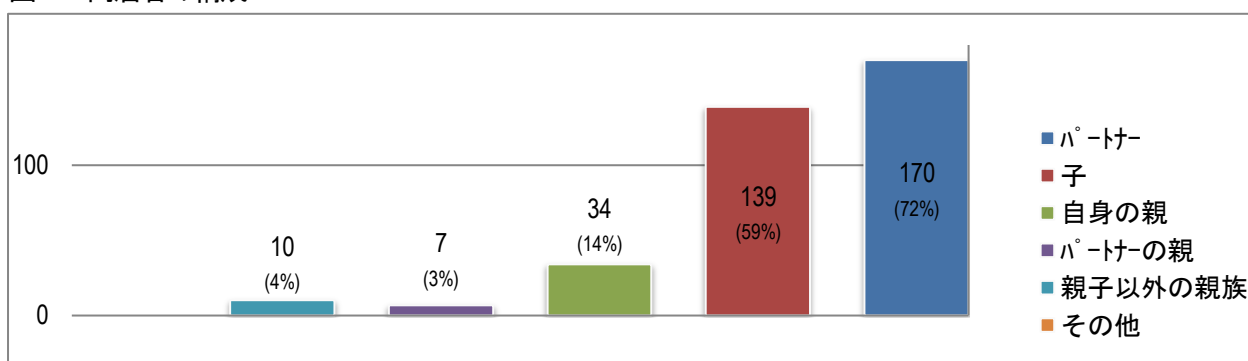
図 4 同居者の有無



(2) 「いる」とお答えの方に同居者について伺います。(複数回答可) n=213

カテゴリ	パートナー	子	自身の親	パートナーの親	親子以外の親族	その他
度数	170	139	34	7	10	0
%	80%	65%	16%	3%	5%	0%

図 5 同居者の構成

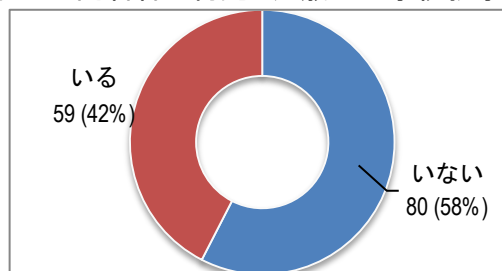


3. 育児について

(1) 同居者で育児（0歳～小学校就学前）を必要とする方がいる。（必須）n=139

カテゴリ	いない	いる	合計
度数	80	59	139
%	58%	42%	100%

図 6 同居者で育児（0歳～小学校就学

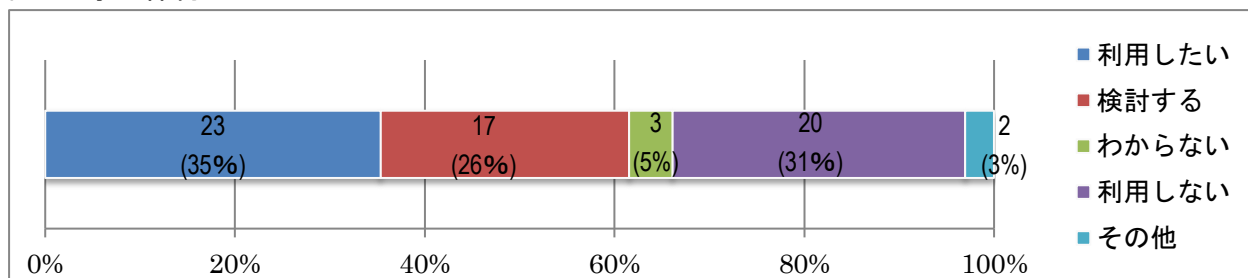


(2) 「いる」または、出産の可能性のある方（またはそういうパートナーがいる方）にお伺いします。

学内に保育所があれば、利用したいですか。

カテゴリ	利用したい	検討する	わからない	利用しない	その他	合計
度数	23	17	3	20	2	65
%	35%	26%	5%	31%	3%	100%

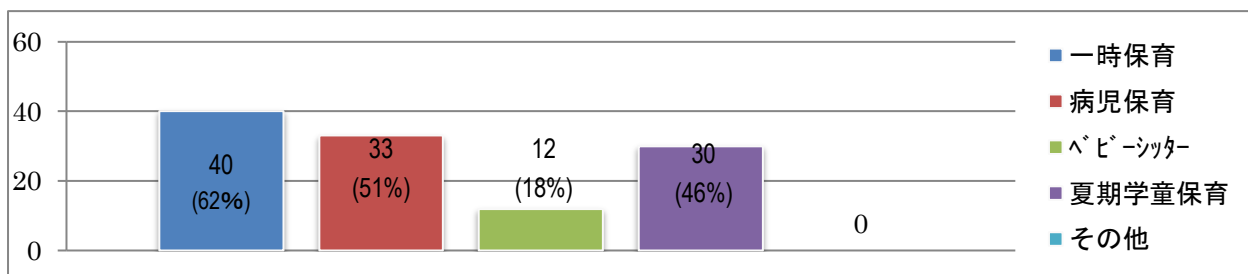
図 7 学内保育



学内保育所以外で、必要と思われる保育支援について（複数回答可） n=65

カテゴリ	一時保育	病児保育	ベビーシッター	夏期学童保育	その他
度数	40	33	12	30	0
%	62%	51%	18%	46%	0%

図 8 学内保育以外の支援



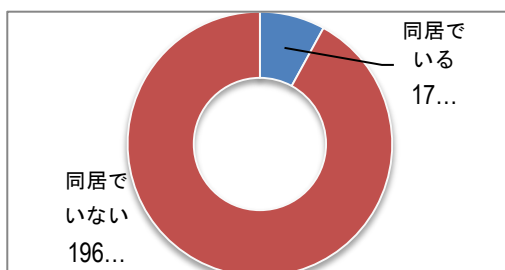
4. 介護について

(1) 介護を必要とする（又は、心配な）方がいる。

同居者で（必須）

カテゴリ	いる	いない	合計
度数	17	196	213
%	8%	92%	100%

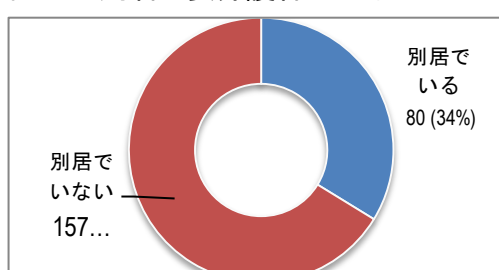
図 9 同居の要介護者がいる



同居でないが（必須）

カテゴリ	いる	いない	合計
度数	80	157	237
%	34%	66%	100%

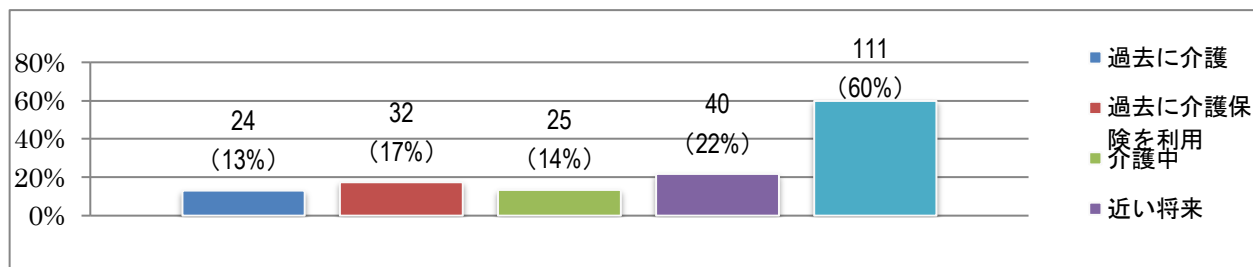
図 10 別居の要介護者がいる



(2) 介護経験について伺います。（複数回答可） n=185

カテゴリ	過去に介護	過去に介護保険を利用	現在介護中	近い将来介護予定	介護予定はない
度数	24	32	25	40	111
%	13%	17%	14%	22%	60%

図 11 介護経験について

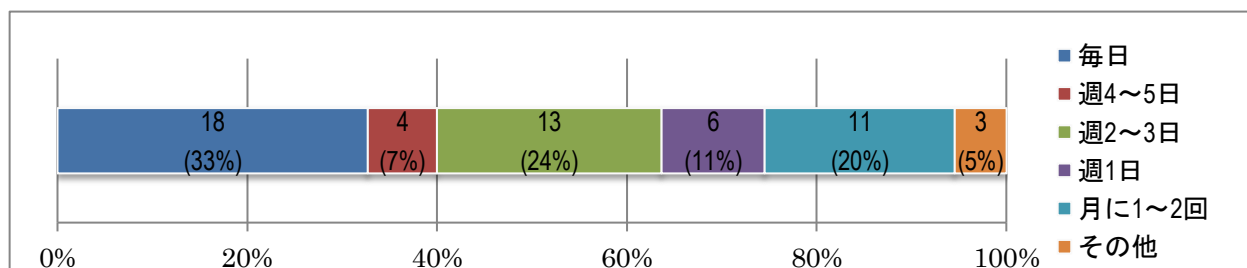


(3) 介護状況について、経験者及び介護中の方にお伺いします。

介護にかかる頻度

カテゴリ	毎日	週4-5日	週2-3日	週1日	月1-2回	その他	合計
度数	18	4	13	6	11	3	55
%	33%	7%	24%	11%	20%	5%	100%

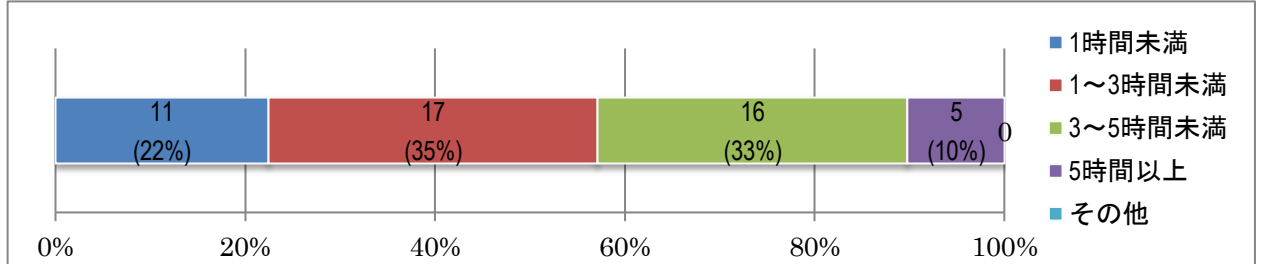
図 12 介護頻度



介護にかかる時間（1日あたり）

カテゴリ	1時間未満	1-3時間未満	3-5時間未満	5時間以上	その他	合計
度数	11	17	16	5	2	51
%	22%	33%	31%	10%	4%	100%

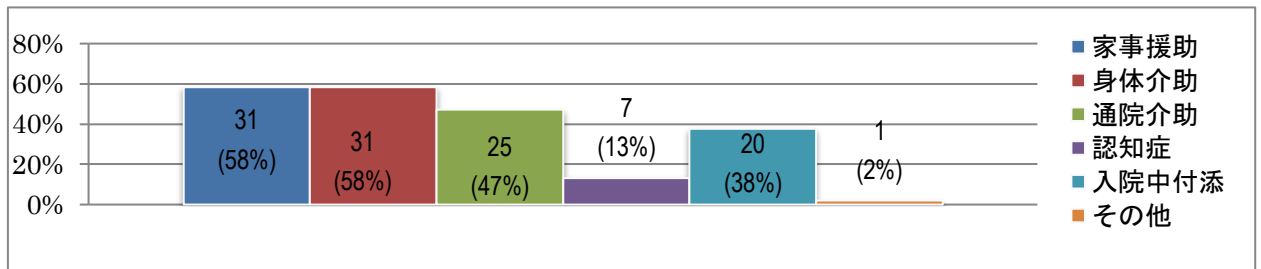
図 13 1日あたりの介護時間



介護内容（複数回答可） n=53

カテゴリ	家事援助	身体介助	通院介助	認知症 安否確認	入院中 の付添	その他
度数	31	31	25	7	20	1
%	58%	58%	47%	13%	38%	2%

図 14 介護内容

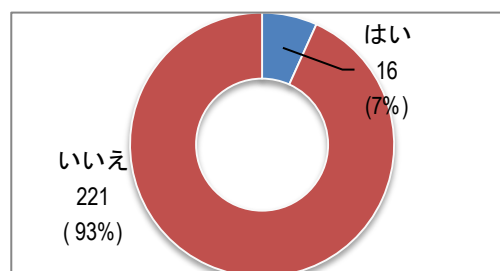


5. 支援について

(1) 学内で相談したことがありますか（必須）

図 15 相談の有無

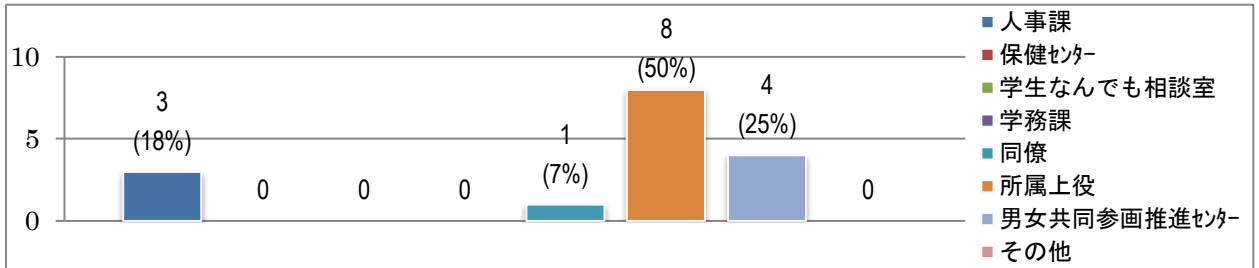
カテゴリ	はい	いいえ	合計
度数	16	221	237
%	7%	93%	100%



(2) 相談先についてお伺います。（複数回答可） n=16

カテゴリ	人事課	保健センター	学生なんでも相談室	学務課	同僚	所属の上役	男女共同参画推進センター	その他
度数	3	0	0	0	1	8	4	0
%	18%	0%	0%	0%	7%	50%	25%	0%

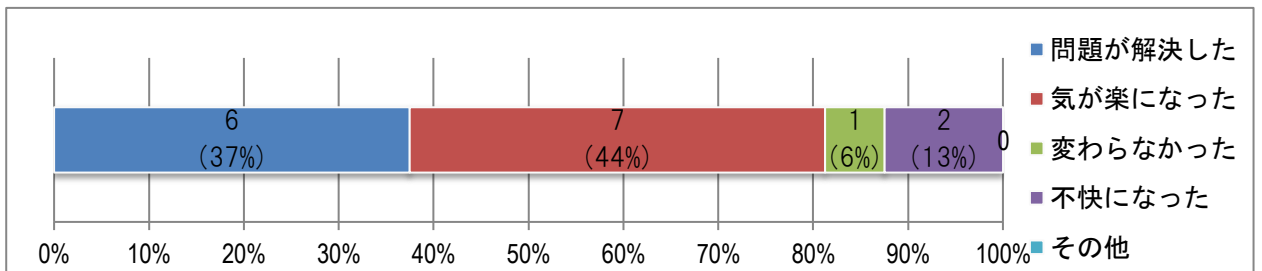
図 16 相談先



(3) 相談した方にお伺いします。

カテゴリ	問題が解決した	気が楽になった	変わらなかった	不快になった	そのほか	合計
度数	6	7	1	2	0	16
%	37%	44%	6%	13%	0%	100%

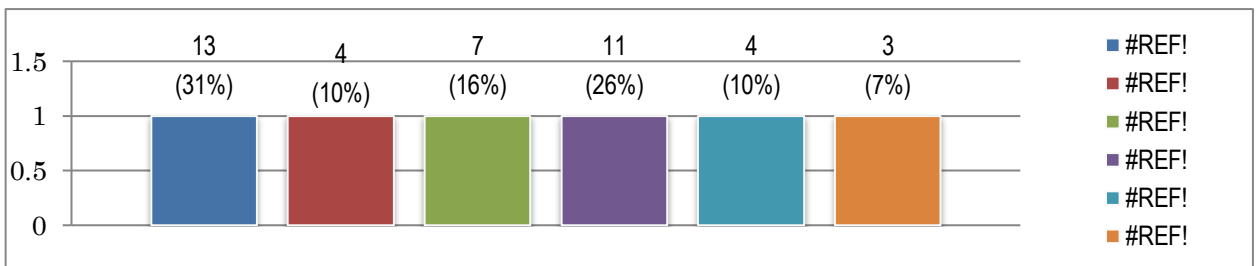
図 17 相談結果 n = 16



6. 育児・介護支援に対して、ご意見などありましたら自由記述をお願いします。n=42

カテゴリ	支援	育児	職場	制度	相談	そのほか	合計
度数	13	4	7	11	4	3	16
%	31%	10%	16%	26%	10%	7%	100%

図 18 育児・介護支援に対する意見 n=42



<支援について>

- ・育児について、職場について、制度について、介護について、相談について等 42 件記述があった。
- ・学内保育を希望する。小学生の含めた受け入れもほしい。
- ・小学校の夏休み期間等学童保育を希望する。
- ・支援として育児・介護とも、家事援助が仕事の効率に有効である。
- ・介護サービスの利用補助が介護の負担を軽減するという意見もあった。

<育児について>

- ・急な一時保育やファミリーサポート、病児保育の受け入れ先を探すのに苦労する。
- ・土日休日、夜間、出張時など、業務のために急に預け先を探すのは難しい。
- ・男性にも積極的に育児参加しやすい環境作りが必要。育児中の男性も支援すべき。

<職場について>

- ・休みをとることに対して、周りへの仕事の負担、公平性、言い出しづらい。
- ・仕事についていけない、評価が下がるのではと気になる。
- ・職場の人たちの理解が必要。
- ・互いの気遣いが大切。育児介護などで休む人も感謝の気持ちをもってほしい。

<制度について>

- ・育児休業・休暇制度について、長期間連続取得を前提として、男性は利用しにくい。
- ・残業を減らす、会議等を定時以降に開かない、担当授業数を減らすなど時間に関する指摘もあった。
- ・育児短時間勤務制度、育児部休業制度を3歳以降、小学生にも延長してほしい。
- ・パートタイマーにも看護休暇を有給にしてほしい。
- ・有期雇用者やパートタイマーにも職場復帰できる環境が整うことを願います。
- ・介護について、突然の介護に備えて事前に準備や情報があると助かると思う。

<相談について>

- ・育児・介護を行っている人への肉体的・心理的不安のケアが必要。
- ・どこに相談したらよいかわからない。相談したりアドバイスを受けられたりする組織があると良い。

<その他>

- ・資生堂の方針が参考になると思う。・女性ばかりを優遇するイメージは良くない
- ・大学全体でサポートするしくみを考える。
- ・育児介護環境を向上させる工学的支援を大学の実践としてモニタリングするのも面白いのでは。
- ・次世代を担う若手の活躍に必要な育児支援を、ぜひ充実してほしい。
- ・育児や介護には、それぞれの事情があり、丁寧な対応が必要。
- ・支援の内容、対応はオーダーメイドが望ましい。

「育児・介護支援のためのアンケート調査 2015」にご協力くださいますて、誠にありがとうございました。